

春色の候、皆様には御健勝のことと存じます。今年度も、保護者の皆様には、進路指導への御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も引き続き、よろしくお願ひいたします。

<普通科3年>

3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、本校進路活動に御理解・御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。また、福祉の実習に向けては、事業所の見学もしていただきましたこと、感謝申し上げます。進路先を決めるにあたっては、職場見学、インターンシップ、現場実習と経験を重ねてきました。新しい環境の中で大変なこともたくさんありましたが、生徒自身が最後まで諦めずに向き合ってきた結果が、進路先につながっていると信じています。いよいよ4月から社会人としてのスタートです。学校から社会へは、大きな環境の変化となります。ぜひ、これからもお子様の日々の様子を見ていただき、見守っていただきたいと思います。健康第一で、毎日元気よく出勤できるよう御支援よろしくお願ひいたします。皆さんの御活躍をお祈りいたします。

進路担当；山藤

<普通科2年>

インターンシップ、現場実習、保護者会への参加など進路活動に御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。特に初めての現場実習では、生徒だけでなく保護者の皆様も御心配なことが多かったかと思ひます。初めて行く場所で、保護者や教員とも離れ一人で活動をしたという経験は、それぞれの形で自信につながったのではないのでしょうか。生徒たちが安心して実習に取り組めたのは、毎日の日誌記入や事前の通勤練習、体調管理など御家庭からたくさんのお支えがあってこそだと、心より感謝しております。

3年生は進路を決める大事な年となります。手帳の成人更新や求職登録、アセスメント、区への書類提出等、これからは全員同じではなく、それぞれの道に向けて行っていただく手続きも多く出てきます。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。

進路担当：松井

<普通科1年>

今年度、進路活動に御理解、御協力いただきましてありがとうございました。1年生では、職場見学を行いました。見学先の方から説明を聞いて、実際に働いている人を見て感じるころがあった貴重な時間でした。また、保護者の皆様には事業所見学に多数行っていただきありがとうございます。卒業後の生活へのイメージをもていただけたことと思ひます。2年生からは、インターンシップや現場実習が始まります。挨拶や身だしなみ、生活リズムを整えることなど、普段からの取り組みが、実習の場面で表れます。ぜひ、今後も学校と家庭で課題等を共有し、進路決定に向けて取り組みを進めていければと思っております。また、現場実習では、通勤の確認や練習、面接、見学、振返りなど、多くの場面で保護者の方の御協力が必要となります。来年度も、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

進路担当：佐々木

<職能開発科3年>

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんとは、2年生から進路担当として一緒に学習に取り組んできました。その中で私が大切にしてきたことは、職業やキャリアガイダンスの授業、職業に関する専門教科などを通して、就労に向けての知識や力を付けることだけではありません。自分が卒業後どのような目標や夢を持っているのか、その実現のためにどんな準備や生活設計をしていったらよいかを、それぞれ考えてほしいと思っていました。それを具体的にまとめたものが、皆さんが作成したマイキャリアプランです。

4月から始まる新しい生活でも、困難な場面がたくさんあるかもしれません。でもその時、自分が学習してきたことや目標をもう一度思い出してみてください。きっと困難を乗り越える力になってくれるはず。社会人として成長した皆さんに、また会えることを楽しみにしています。 進路担当 伊藤

<職能開発科2年>

2年生後期の就職活動に向けての現場実習も、3月に無事に終わることができました。保護者の皆様には、実習準備や日誌記入など御協力いただきありがとうございました。現場実習の御評価からは、安定した出勤や体調管理、挨拶や報告・連絡・相談といったコミュニケーション、職域によっては見られている意識、姿勢などの課題も見えてきました。3年の就職活動に向けて、専門教科を中心に学校生活の中でこれらの改善を図っていきたいと思います。実習後に配布しておりますレーダーチャートをもとに、個人の評価と課題の確認ならびに今後の進路選択について、本人と改めてお話をいただけたらと思います。また、御家庭でも、毎日、安定した職業生活を送るための体調管理や清潔感を意識した身だしなみの方法を一緒に御相談いただきたいと思います。1年間ありがとうございました。 進路担当 荻野

<職能開発科1年>

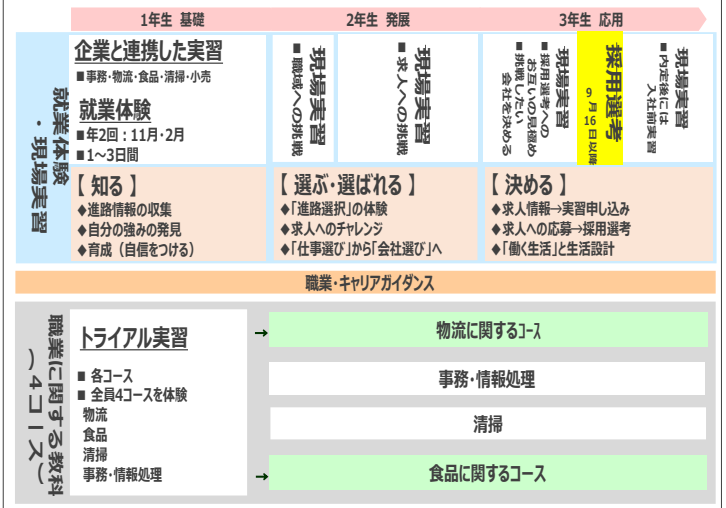
2月後半から3月中旬にかけて、就業体験を実施しました。2回目という事もあり、実習の流れも知っているため、生徒が主体的に動く姿勢が見られたことは、非常に良いことでした。就業体験では、前回よりもできたという感想が多く、自信につながったと思います。ただ、会社から届いた評価表の学年平均を取ってみると、挨拶、返事、報告・連絡・相談などの「コミュニケーション」や作業の「正確性」が課題に挙がってきております。学校でも引き続き、指導をして参ります。御家庭でもできる範囲で御協力いただけると有難いです。

1年生のキーワードは「知る」でした。自分を知る・会社を知る・社会を知るという事で、自分の強みや弱み、職域や会社ごとの違い、大人のマナーや基準を企業と連携した実習や就業体験において情報収集してきました。多くの経験を積むことで、1年生もようやく自分の強みや弱みについて発信できるようになってきたように感じております。強みはアピールポイントに、弱みは配慮につながるので、レーダーチャートや職業に関する専門教科の振り返りを再度実施し、2年生がスタートするまでに整理しておきましょう。

1年間お疲れ様でした。 進路担当：藤嶋

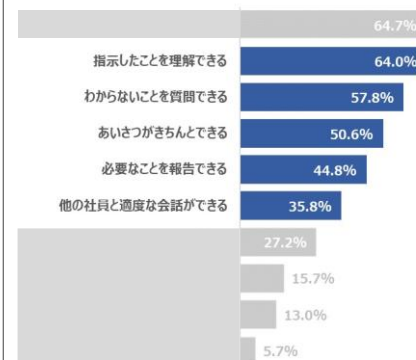
進路指導の基本的な考え方

令和6年4月現在



人事担当者に聞きました

知的障害者を雇用する際に、重視していることは？（複数回答）



基本的で多様な
コミュニケーション

自己理解と
他者理解へ
(自分も相手も大事に)